



図書館だより



NO.3
2008/6/2

ノートルダム学院小学校図書館

かけがえのない美しい地球を守ろう

世界環境デー（6月5日）環境週間（6月5日－11日）

1972年6月5日スウェーデンのストックホルムで、第一回国連会議が開かれたのを記念して決められた「環境の日」。

7月7日から日本が議長国になって開かれる「洞爺湖サミット」でも地球環境問題が話し合われることになっています。サミットに先き立って一般の人々も環境問題について話し合っているというニュースが毎日、新聞に出ています。日本では6月を「環境月間」としています。わたしたちにもできることはないでしょうか。



<環境問題を考える本>

- ためしてわかる環境問題 山崎慶太 大月書店
- 子どもたちが地球を救う アース・ワークグループ プロセス新社
- 地球救出大作戦 チルドレン・オブ・ザ・ワールド 小学館
- やってみようエコチェック 高月紘 講談社



- 池上章の君ならどう考える地球の危機 リーズ 池上彰 文楽堂
- 南極からのメッセージ NHK出版 NHK出版
- ガラパゴスがこわれる 藤原幸一 ポプラ社
- 宇宙からみた地球環境 山田ふしぎ 大月書店

時間の不思議

時の記念日（6月10日）



671年天智天皇の時代に、水時計で時間をはかって、時を知らせたという日。
1分は長い？短い？同じ時間でも長く感じたり、短く感じたりしますね。
今、この瞬間の時間は、通りすぎてもう戻ってきません。正確な時刻を知り、時間を大切にしましょうと、1920年（大正9年）東京天文台と生活改善同盟会がこの日を決めました。

昔の人はどのようにして時刻をはかっていたのでしょうか

天智天皇の時代には、2人の博士たちが交代で水の量をチェックして、鐘や太鼓で時報を鳴らしたということです。

16世紀半ばに、聖フランシスコ・ザビエルが周防の大内氏に献上したゼンマイ時計を名古屋の津田助左衛門がまねて作った和時計が日本最初のゼンマイ時計です。

<時間の本>

- おまけのじかん あまんきみこ ポプラ社
- 時間と時空の冒険 高橋正実 岩崎書店
- 時空の旅 赤木かん子 ポプラ社
- 絵ときゾウの時間とネズミの時間 本川達雄 福音館書店
- 時の旅人 アリスン・アトリー 岩波書店
- 二分間の冒険 岡田淳 偕成社
- まほうつかいは時間ドロボー シュワルツ 旺文社

あたらしく 入った本



- 『小さな天使とデンジャラス・パイ』ジョーダン・ソーネンブリック 作 主婦の友社
- 『小さな命がくれた勇氣』キャシー・ケイサー 著 主婦の友社
- 『地球環境のしくみ』島村英紀 著 さ・え・ら書房
- 『森は地球のたからもの2 森は命の源』宮脇昭 著 ゆまに書房
- 『日本地図絵本』にしもとおさむ 著 さく 世界文化社
- 『せんをたどって いえのなかへ』ローラ・ユングヴィスト 著 さく 講談社
- 『おすしでげんき』つちだよしはる 著 さく あかね書房
- 『くらげゆらゆら』楚山いさむ 著 写真 ポプラ社
- 『ターニング・ポイント1』ディビッド・クラス 著 岩崎書店 **その他**